

第69回全日本教員ソフトボール選手権大会 実施要項

- 1 主催 公益財団法人 日本ソフトボール協会
- 2 後援 鳥取県、鳥取県教育委員会、倉吉市、倉吉市教育委員会、北栄町、北栄町教育委員会、三朝町、三朝町教育委員会、公益財団法人鳥取県スポーツ協会、倉吉市体育協会、(一財)北栄スポーツクラブ、三朝町体育協会、新日本海新聞社、山陰中央新報社、日本海テレビ、BSS山陰放送、TSKさんいん中央テレビ、日本海ケーブルネットワーク、鳥取中央有線放送(株)、中海テレビ放送、(公財)とっとりコンベンションビューロー
- 3 主管 鳥取県ソフトボール協会、鳥取県中部地区ソフトボール協会
- 4 会期 2023年7月29日(土)～7月31日(月) ※予備日は設けない
- 5 会場
- ・鳥取県立倉吉総合産業高校(A) 倉吉市小田204-5
 - ・北栄町立北条中学校(B) 北栄町土下100-1
 - ・北栄町北条野球場(C) 北栄町国坂385-5
 - ・三朝町営三朝球場(D) 三朝町本泉685
- 6 参加チーム数 32チーム

優前 勝年	準前 優年 勝	地 元	北 海 道	東 北	関 東	北 信 越	東 海	近 畿	中 国	四 国	九 州	合 計
1	1	0	0	1	5	0	5	5	3	5	6	32

※前年優勝チーム:高知教員ソフトボールクラブ(高知県) 前年準優勝チーム:鹿児島教員団(鹿児島県)

- 7 参加資格 (イ)令和5年度公益財団法人日本ソフトボール協会に各支部を通して加盟登録した教員チームに限る。
(ロ)所属長が身体、人物共に適当と認めたもの。
- 8 出場資格 (イ)本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選または、推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
(ロ)選手の編成は、最終予選終了時まで公益財団法人日本ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。
なお、本大会参加申込み以後のメンバー変更は認めない。
(ハ)チームの編成は、次の通りとする。
- 監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、トレーナー1名、選手25名以内。
 - ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。
 - ※通訳1名(外国人選手がいる場合に限る)のベンチ入りを認める。
 - ※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
 - ※トレーナーは選手の健康管理ができる者とする。
 - ※監督・コーチの中で次の①～③のいずれかの資格を有する者がいること。
 - 監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。
 - ※指導者資格保持者は試合中、ベンチ内にいなければならない。
 - ①公認コーチ1～4(旧資格名:公認ソフトボール指導員・上級指導員・公認ソフトボールコーチ・ソフトボール上級コーチ)
 - ②ソフトボールスタートコーチ ③公認準指導員

- 9 申込み方法 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け6月19日(月)までに到着するよう下記宛に申し込むこと。
- (1)〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square
公益財団法人日本ソフトボール協会 宛
※日本協会へは参加申込書のコピーのみ(押印のある用紙とプログラム掲載用選手名簿)送付。
原本は(2)の送付先に送付すること。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は所属支部協会に所属支部協会が保存する登録名簿(B表)と参加申込書の照合確認を受け、登録名簿(B表)の写しも同封し送付すること。
ただし、日本協会登録システムでチーム登録を行っているチームについては、登録名簿の送付は不要とする。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は指導者資格登録証のコピーなど資格保有を証する書類のコピーを添付すること。
- (2)〒682-0912 鳥取県倉吉市和田522-1 村脇正仁方
第69回全日本教員ソフトボール大会事務局 宛
・参加申込書原本、プログラム掲載用選手名簿(電子データ)、調査書等
※電子データは、E-mail:mu19560320@hb.tp1.jp 宛

- 10 参加料 1チーム50,000円
※参加料は下記あてチーム名でお振込みをお願いします。なお、振込手数料はチームにてご負担願います。

山陰合同銀行羽合支店 普通預金 口座番号:3641700
口座名義:鳥取県ソフトボール協会

- 11 競技規則 2023年度オフィシャルソフトボールルールによる。
- 12 試合球 公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球(ナガセケンコー)とし、主催者が準備する。
- 13 試合方法 ・トーナメント方式による。
 ・1回戦～準決勝戦は90分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合は、次イニングよりタイブレークにより試合を続行する。但し、タイブレークは2イニングまでとし、タイブレークで2イニング終了してもなお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。得点差コールドゲームは採用しない。
 ・決勝戦は時間制限を設けず、3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合はコールドゲームとする。
 ・サスペンデッドゲームを採用する。
- 14 表彰 (1)優勝チームに、表彰状、優勝旗、優勝杯、優勝メダルを授与する。
 (2)準優勝チームに、表彰状、準優勝杯、準優勝メダルを授与する。
 (3)3位チームに、表彰状、3位メダルを授与する。
 (4)優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとする。
 (5)個人表彰として最優秀選手1名、優秀選手1名を表彰する。
- 15 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 16 組合せ抽選 試合の組合せは、6月26日(月)14時より鳥取県立倉吉体育文化会館において、主管者立会いのもと公開代理抽選によって決定する。
- 17 監督会議 7月28日(金)16時より鳥取県立倉吉体育文化会館において開催する。
 ※監督はユニフォーム着用で出席すること。
- 18 審判・記録会議 7月29日(土)7時30分より鳥取県立倉吉総合産業高校グラウンドにおいて開催する。
- 19 開会式 開催しない。
- 20 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行なうと共に、公益財団法人日本ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(死亡・後遺障害500万円、入院日額3,500円)の範囲内で補償を行なう。
 参加者は全員健康保険証を持参すること。
- 21 その他 (1)出場チームは必ず監督(引率責任者がいる場合は引率責任者)によって引率され、監督(引率責任者)は選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
 (2)全日本大会で棄権したチームの取扱いについては以下の通りとする。
 棄権チームに対する処置:当該年度及び次年度の公式試合の出場停止する。
 ※組合せ抽選終了後の出場辞退も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響による棄権については上記処置は適用しない。
 棄権チームに対する処置は日本協会倫理委員会で審査し日本協会理事会で決定する。
 (3)雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
 (4)雨天等で準々決勝以降の試合が行えず、勝ち残ったチームが8チーム以下の場合は当該チームの抽選により次年度大会への推薦出場の順位を決定する。
 (5)宿泊及び昼食については、下記のとおり斡旋するので、別紙申込み書により6月9日までに株式会社JTB鳥取支店まで申込みこと。
 【斡旋業者】(株)JTB鳥取支店
 〒680-0846 鳥取市扇町58 ナカヤビル6階
 株式会社JTB鳥取支店
 TEL/FAX 0857-22-8851 /FAX 0857-24-7228
 E-mail tori-taikai@jtb.com
 (6)宿泊の斡旋を要しないチームも宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡すること。
 (7)ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
 (8)本大会の試合の一部を動画配信することもありますので予めご了承下さい。
 (9)その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。
 (10)大会参加申込書は手書き又はパソコン等で作成し明確に記入すること。

【本大会の問い合わせ先】

〒682-0912 鳥取県倉吉市和田522-1
 第69回全日本教員ソフトボール大会事務局 村脇 正仁
 TEL/FAX:0858-23-2087
 携帯:090-4657-4281
 E-mail:mu19560320@hb.tp1.jp